

登録医療機関ご紹介

つるたクリニック眼科・泌尿器科



副院長 鶴田奈津子 院長 鶴田勝久

2023年5月より、名古屋市北区中丸町のドラッグコスモス中丸店の2階に眼科と泌尿器科の専門クリニックを開院いたしました。いままで大学病院や総合病院で数多くの患者様の診療に携わらせていただきました。長年培ってきた知識、経験を活かして、泌尿器科専門医である院長と、眼科専門医である副院長が「町のかかりつけ専門医」として、皆様方の不安や心配をなくすことできるように努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

こんな方は・・・【泌尿器科】排尿障害、尿検査異常、尿路結石、泌尿器科がん疑い（PSA高値、日帰りの組織検査も行っています）。お子様の夜尿症や女性の骨盤臓器脱、過活動膀胱など  
【眼科】一般眼科、お子様の近視・斜視・弱視、眼瞼下垂、さかまつげや涙道閉塞症などの治療をおこなっています。これ以外の泌尿器科、眼科のことで気になることがありましたら、是非ご相談ください。



診療時間	月	火	水	木	金	土
眼科・泌尿器科	9:00~12:00	●	●	▲	●	●
眼科	14:00~17:00	●	●	/	●	/
泌尿器科	16:00~19:00	●	●	/	●	/

▲：手術・処置検査日(予約制)  
【休診日】水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

つるたクリニック 眼科・泌尿器科  
☎(052)9141551 〒462-0056  
北区中丸町2丁目22 ドラッグコスモス中丸店2階

Webで予約すると待ち時間を短縮できます  
90台の共用平面駐車場、バス停[中丸町]のすぐ前

※「登録医療機関ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携センター小谷（おだに）までご連絡ください。

西部 産婦人科より

〈硬膜外分娩はじめました！〉

西部医療センター産婦人科では、ハイリスクな分娩を多数扱っており可能な限り自然分娩を行なっていますが、患者さんのニーズも高まり、硬膜外分娩を6月から開始しました。硬膜外分娩とはいわゆる無痛分娩のことで、名市大麻酔科無痛分娩センターの協力を得て痛みの少ないお産を提供しています。現在は経産婦さん対象で週2日の計画誘発分娩ですが、いづれ希望する方皆さんに希望する時間帯に行なっていけるような体制づくりを目指していきます。リスクがあって周産期センターでのお産が必要だけど、痛みが心配だったという妊婦さんに安心して分娩にのぞんでいただけると幸いです。

周産期医療センター長 西川尚実



名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター  
〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

TEL : 052-991-8121 (代表)  
FAX : 052-856-0049 (地域医療連携センター)  
※診療予約

<https://www.west-medical-center.med.nagoya-cu.ac.jp>



西部医療センター地域医療連携 NEWS 2023年8月号  
〈編集担当〉地域医療連携センター 小谷純子 浅井瑞葉

名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター  
地域医療連携 NEWS

《基本理念》  
地域に根差した大学病院として、  
高度かつ安心な医療を提供するとともに  
優れた医療人を育成します。



2023 8月号

◆目次◆

生殖医療センター開設のご案内	1
生殖医療センター特集	2・3
登録医紹介《つるたクリニック》	4
産婦人科からのお知らせ《硬膜外分娩はじめました》	4



生殖医療センター

令和5年9月4日(月)開設



副病院長  
生殖医療センター長  
泌尿器科部長・教授  
梅本 幸裕  
【専門領域】男性不妊

不妊の原因はおよそ半分が男性にあります。当センターでは、従来行ってきた「男性不妊症」「不育症治療」に加え、「体外受精」「顕微授精」などの本格的な生殖医療にも、地域医療機関と連携を図りながら取り組みます。治療中に手術が必要となった場合への対応や、妊娠成立後の健診・出産まで同一施設で完結できることも強みです。不妊症で悩んでいる、心配しているカップルのご希望に添える医療、少しでも安心して頂ける医療を提供していきます。

関係者の皆様におかれましては、少子化対策の一助として、何卒ご支援・ご指導の程、宜しくお願い致します。



副病院長  
生殖医療副センター長  
尾崎 康彦  
【専門領域】不育症



助教  
林 祥太郎  
【専門領域】女性不妊



臨床検査技師  
角田 菜緒



胚培養士  
北舘 祐



名古屋市立大学泌尿器科 講師  
生殖医療専門医  
岩月 正一郎  
(非常勤)



名古屋市立大学産婦人科 助教  
松本 洋介  
(非常勤)  
【専門領域】女性不妊

外来診療表

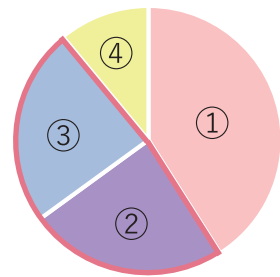
	月	火	水	木	金
午前	女性	男性	女性	男性	女性
午後	不育症		検査など		



# 『男性不妊』編 不妊の原因はおよそ半分が男性！？

●勃起・射精ができていれば大丈夫と考えるのは **大間違い** です。

## 不妊症の原因

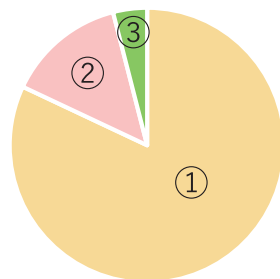


- ①41%女性因子のみ
- ②24%男女とも因子あり
- ③24%男性因子のみ
- ④11%因子なし

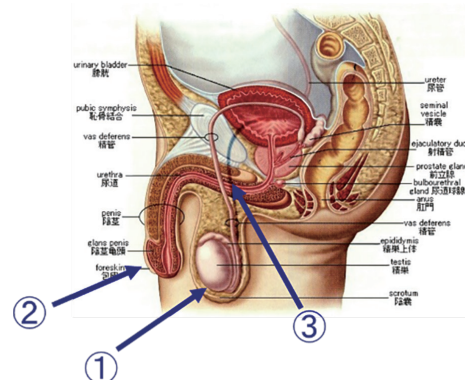
男性が半数



## 男性不妊症の原因



- ①82%造精機能障害
- ②14%性機能障害
- ③4%精路障害



- ①造精機能障害（精子が作られない、精子が少ない、動かない）82%
- ②性機能障害（勃起、射精ができない）14%
- ③路通過障害（精子の通り道が詰まっている）4%

男性不妊症の手術は精液中に精子がない無精子症に対して精巣内精子採取術 (TESE)が行われております。  
 また精子が少ない、動かない、体外受精でも結果が出ない、といった時にはしばしば精索静脈瘤(精巣周囲の静脈が瘤のようにはれている)が認められます。  
 この場合、顕微鏡下精索静脈瘤低位結紮術(Varicocelectomy)を行っております。  
 西部医療センターでは毎週この手術を毎週行っており名古屋市立大学としては今までTESEを500例以上、Varicocelectomyを450例以上行ってきております。  
 是非不妊に悩むカップルは男性も気軽に受診いただき、パートナーとともに治療にあたってください。

# 『不育症』編 流産をくり返したら『不育症』かもしれません

妊娠はするけれど流死産をくり返して生児が得られない状態を**不育症**といい、3回以上連続する流産を**習慣流産**といいます。  
**流産は妊娠の約10~15%**に発症し、**不育症は約5%**、**習慣流産は約1%**に認められます。  
 不育症診療では原因検査のために**胎児絨毛染色体検査**が重要です。

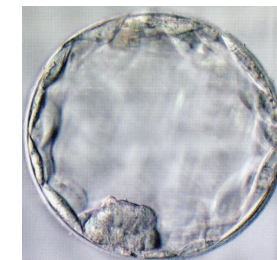
- **2回以上の流産の場合**  
 当院での流産手術と同時に絨毛染色体検査が可能です。
- **流産手術後の場合**  
 月経再開後であれば直ぐに検査を開始することが可能です。
- **夫・パートナーの検査**  
 男性側の検査も産婦人科で行います。



# 『女性不妊』編 『赤ちゃんが欲しい。』 私たちと一緒に不妊治療を考えませんか？

私たちは新たに生殖医療センターを開設しました。  
 この地域の患者様に不妊治療を提供できることを嬉しく思います。  
 私たちは患者様に安心して治療を受けていただけるよう、最新の設備と清潔な環境の中でお迎えいたします。不妊症の相談、検査から始まり、タイミング指導、人工授精、体外受精/顕微授精、胚移植まで治療を行えます。もちろん保険診療に対応しております。  
 また、総合病院である強みを生かして、合併症のあるかた、不妊治療に伴って必要な手術や、その後の出産に際しても一貫してサポートすることができます。  
 もう一つの大きな特徴として、院内の不育症、男性不妊診療とも常に連携をとっています。男女問わずカップルの治療を行ってまいります。  
 個別の相談や質問にも丁寧にお答えし、皆様の不安を取り除くために努めてまいります。

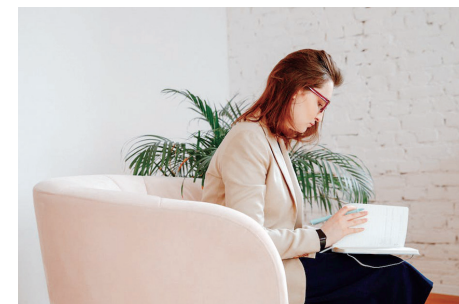
不妊症に悩むカップルを是非ご紹介ください。  
 初診でいらしても大丈夫です。  
 女性不妊の外来は、**月、水、金**には**午前中**、**火、木**には**午後**となっております。  
 小さな一歩ですが、皆様にご指導いただきながら成長していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



# 『カウンセリング』編 一人で悩まないで・・・

不妊症治療、不育症治療に取り組むカップルは、診断～治療、出産に至るまで多くのストレスを抱えています。  
 また、生殖にかかわるころのつらさは抱え込みやすく、治療や意思決定に支障を来すこともあります。

当センターでは、お子さまを望むカップルのこころのケアを大切に考え、生殖心理カウンセラーによるカウンセリングを提供しています。



「治療について不安...」  
 「パートナーとの温度差がある...」  
 「同僚や友人を妬ましく感じてしまう...」  
 治療に関する悩みだけでなく、抑うつや不安との付き合い方、夫婦関係や対人関係の悩み、治療経過の振り返りや意思決定支援、多様な生き方を考える相談など承ります。

《対象》  
 当センターに通院するカップル

《費用》  
 カウンセリング初回 ￥5,360  
 2回目以降～ ￥3,010





# 歯科口腔外科 NEWS

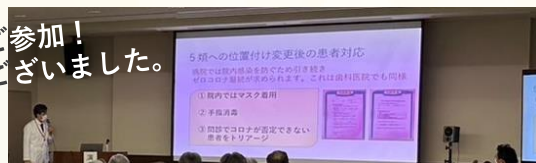


01

13  
回

seminar

総勢40名のご参加！  
ありがとうございました。



登録医の皆様には、いつもご支援をいただきありがとうございます。  
2023年も折り返し点を過ぎて、いよいよ真夏の到来でしょうか。夏の暑さは、年々厳しく長くなってきているように思います。

さて、先日、2023年7月6日に第13回周術期口腔機能管理セミナーを当院施設内大ホールにて開催いたしました。今回は久しぶりに対面のみでの開催でしたので、若干出足が鈍かったようですが、登録医など21名の先生方にご出席を頂き、また院内からも多数の参加者がありました。当院副病院長で呼吸器腫瘍センター長・呼吸器内科部長の秋田憲志教授にご講演を頂きました。ご講演は「with コロナ時代の歯科領域における感染対策」と題して、COVID-19感染症の発端から5類に移行するまでの経過と感染対策の状況をover viewして頂きました。さらに、歯科診療所での感染対策について、一般的な標準予防策にCOVID-19への対応を加える必要性と具体的なテクニックをご教授いただきました。COVID-19感染症について再度整理し、さらには病院での感染対策の息遣いも感じる事ができ、大変有意義なご講演でした。

次回の第14回周術期口腔機能管理セミナーは2023年12月7日に開催が予定されております。セミナーは、頭頸部外科領域の癌治療を取り上げます。当院耳鼻咽喉科の高野学部長には主に上中下咽頭・喉頭がんについて、私は口腔がんについて外科治療をテーマの中心にしようと思っております。今回は可能であればハイブリッドでの開催を検討しておりますので、登録医以外の先生のご参加も得られるのではないかと考えております。体温を超える気温が続くようになった夏、くれぐれも体調管理にご留意いただき、今後とも皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。



深野英夫



加藤伸一郎

02

## information01

安心して入院生活を送っていただくため、患者サポートセンターにて、**入院前面談**をスタート致しました。  
入院に伴う不安の解消、スムーズに退院ができるように努めてまいります。  
お気軽にご相談ください。

## information02

紹介状をお持ち頂いてもご予約がない場合、患者さんをお待たせする時間が長くなります。ご予約を頂くことで、紹介患者さんの診察待ち時間を短縮できます。お手数ですが「**受診予約**」のご協力をお願い致します。



土持師

### ◆ご予約方法◆

「診療申込書」を地域医療連携センターにFAX

FAX番号：052-856-0049

「診療申込書」→



菱田純代



堤康輔



川野嵩

小嶋大輝